

1. ねらい

半田市出身の童話作家、新美南吉の「ごんぎつね」は、すべての小学校国語の教科書に掲載されており、生徒にとって親しみのある、また、身近な土地に関連した物語である。本单元では、「ごんぎつね」の物語中に登場する生物や地形・季節を取り上げ、理科的な視点で捉え、考察する。

2. 利用番組

NHK for school おはなしのくに「ごんぎつね」

NHK for school クリップ「キタキツネ」「ウナギの一生」「ヒガンバナと球根」

「社会保障－公衆衛生（結核）」「愛知県の自然」「秋の天気は?」「満月の動き」

3. 実践

以下に示す内容で授業実践①②を行い、③④の報告をした。授業においては、上記利用番組を取り入れたパワーポイントを使用して説明を行い、まとめプリントに記入させた。

①愛知県立半田商業高等学校定時制2年での授業実践（1月・研究授業）

②愛知県立旭丘高等学校全日制1年での授業実践（2月）

③平成30年度愛知県高等学校視聴覚教育研究協議会知多地区研究会における授業実践の発表

（1月・愛知県立阿久比高等学校）

④NHK番組研究委嘱の実践・すくレポへの報告（3月）

（1）ごんぎつね（NHK for school おはなしのくに「ごんぎつね」）

ぎつねのごんは、自分のいたずらで兵十を傷つけたことを悔いて、毎日栗を届けるが…。一人ぼっこの寂しさと悲しさを描く、新美南吉の名作である。



NHK for school おはなしのくに「ごんぎつね」

（2）ごんぎつねと南吉にかかわる生物

ごんぎつねには多くの動植物が登場する。そのいくつかと、南吉を蝕んだ結核菌について見てみる。

a. キツネ（狐）（NHK for school クリップ「キタキツネ」）

キツネはヒトと同じ哺乳類で、分類ではネコ目イヌ科キツネ属になる。小さな家族単位で生活し、夜

行性で用心深い、賢く好奇心が強い。知多半島では昭和 40 年代に姿を消したが、最近になって半島北部での生息が確認された。



NHK for school クリップ「キタキツネ」

b. ウナギ（鰻）（NHK for school クリップ「ウナギの一生」）

冒頭で登場するウナギは、古くから日本の食文化に深く関わってきた、ウナギ科ウナギ属の魚類である。夜行性で、夜間に小動物を捕食する。川に生息する淡水魚として知られるが、海で産卵・孵化を行い、川に遡ってくる。矢勝川には昭和まで生息しており、現在では地元の人によって放流され育てられている。



NHK for school クリップ「ウナギの一生」

c. ヒガンバナ（彼岸花）（NHK for school クリップ「ヒガンバナと球根」）

兵十の母の葬列に登場するヒガンバナは、ヒガンバナ科ヒガンバナ属の多年草である。稲作の伝来時に帰化し、北海道から琉球列島まで分布する。薬や飢饉時の救飢植物として利用される。田畑の周辺や堤防、墓地などに多く見られ、9月中旬に赤い花が咲く。矢勝川の堤防には約 300 万本のヒガンバナが植えられている。



NHK for school クリップ「ヒガンバナと球根」

d. 結核菌 (NHK for school クリップ「社会保障－公衆衛生 (結核)」)

結核は、結核菌による感染症である。患者の咳などで空気感染し、かつては国民病・亡国病と言われるほど猛威をふるった。第二次世界大戦後、結核予防法の制定と抗生物質の普及などによって激減したが、現在でも他の先進国に比べて感染率と死亡率は高い状態にある。肺結核はレントゲン撮影で発見できる。



NHK for school クリップ「社会保障－公衆衛生 (結核)」

(3) ごんぎつねの舞台：南吉のふるさと岩滑 (NHK for school クリップ「愛知県の自然」)

ごんぎつねの舞台は、南吉が幼少期を過ごした岩滑の集落を含む矢勝川（物語中では「村の小川」と記されている）の流域である。物語にかかわる特徴的な地形を見てみる。

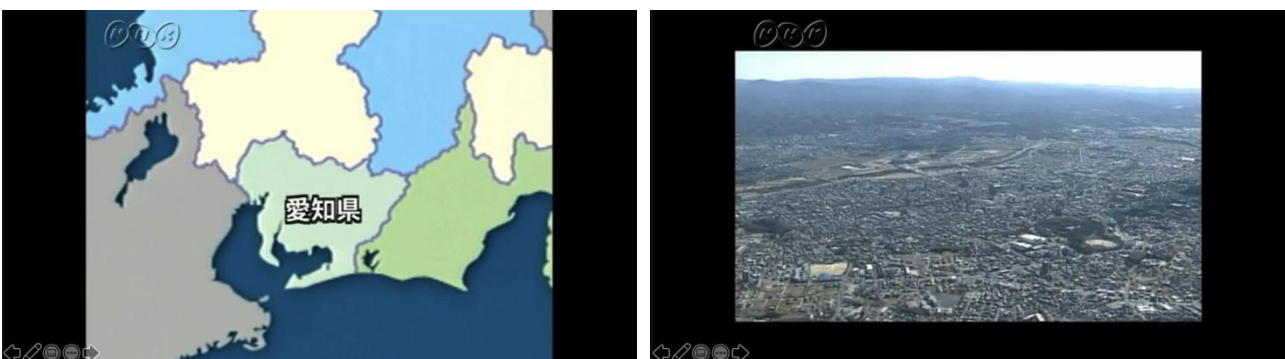
a. 中山と権現山

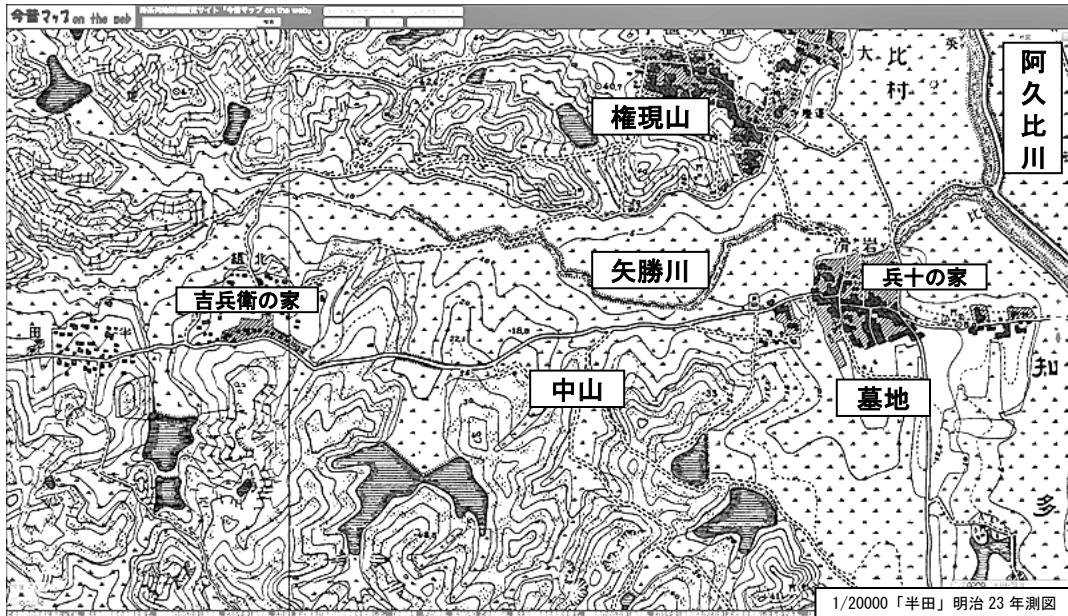
矢勝川の右岸にある中山は、戦国時代から江戸時代に中山氏の城があったとされる標高約 15m の段丘で、現在は新美南吉記念館の童話の森になっている。ごんぎつねが住んでいたとされ、その名前の由来となった権現山は、中山の対岸にある標高約 40m の丘陵であり、地元では昔から「権現さん」と呼ばれ親しまれていた。

b. 矢勝川と半田池

矢勝川は、阿久比川の支流の一つである。西方の半田池を水源として、半田市と阿久比町の境界を東に流れ岩滑東町で阿久比川に合流する、兵十がうなぎを獲っていた川である。流域は標高数十mの丘陵地に囲まれ、川沿いの東西に伸びる平野は水田として利用されている。

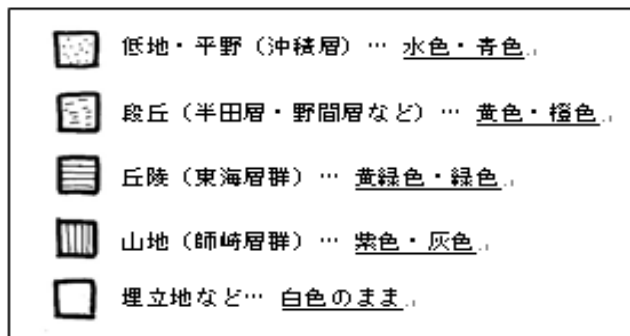
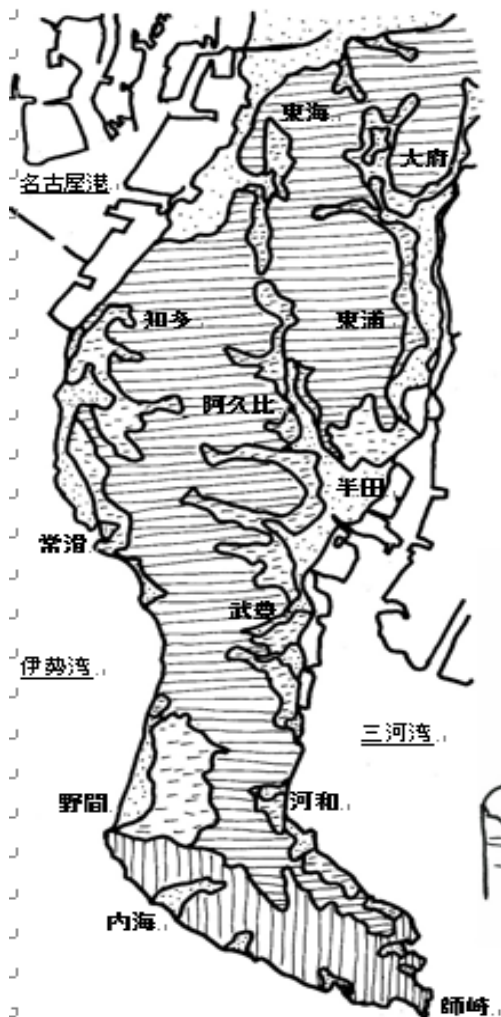
※現在の半田池は埋め立てられ、太陽光発電所が建設されている (2019 年)





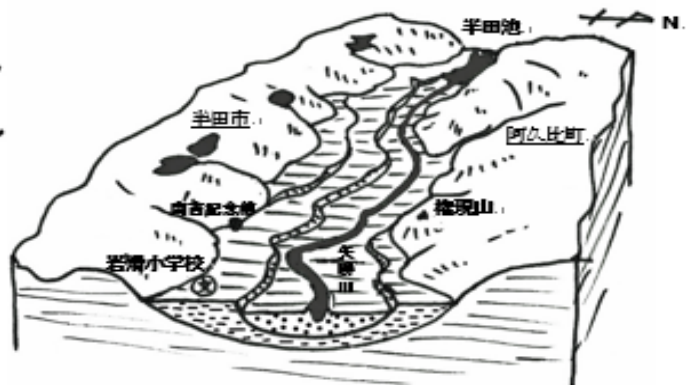
ごんぎつねの舞台岩滑の古地図 (1/20000「半田」明治23年測図に加筆)

今昔マップ (<http://ktgis.net/kjmapw/index.html>) より



土地の中身 (地層) の例 (同じ色を塗ろう)

※岩滑小学校 - 矢勝川 - 半田池



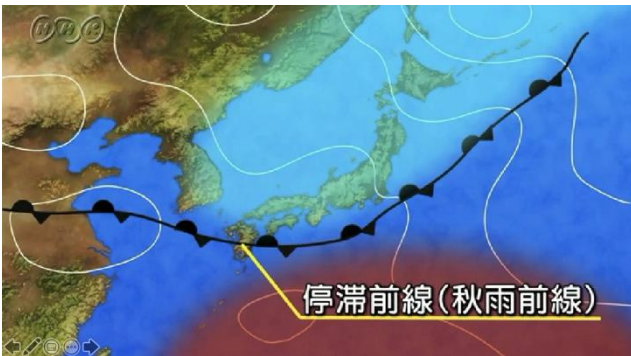
知多半島と岩滑周辺の地形・地質

(4) ごんぎつねの季節

ごんぎつねの記述から、物語の季節や時期を読み取ってみる。

a. 物語のはじまり (NHK for school クリップ「秋の天気は？」)

物語の冒頭には「外へ出られないほどの雨が二、三日ふりつづき、雨があがると空がからっと晴れた」という記述がある。これは秋雨から秋の天気に移ったことを示しているものと考えられる。続く兵十の母の葬列の場面には「お城の屋根瓦が光るいいお天気」という記述があり、秋晴れの天気が続いているものと考えられる。



NHK for school クリップ「秋の天気は？」

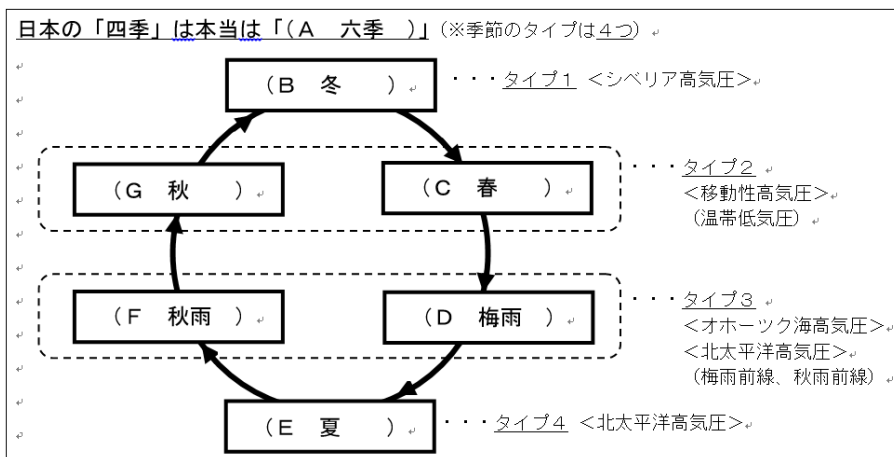
b. 物語のおわり (NHK for school クリップ「満月の動き」)

物語後半の「月のいい晩」とは中秋の名月のことで、「おねんぶつ」はこの時期に催される虫供養大念仏のことと考えられる。その翌日ごんは撃たれてしまう。

以上のことから、ごんぎつねの季節は秋雨～秋で、時期は9月上旬から10月上旬までの約1ヶ月間であると考えることができる。



NHK for school クリップ「満月の動き」



日本における季節の変化

4. 成果と課題

「ごんぎつね」の舞台となった半田市岩滑（やなべ）の土地と生物を、地学的・生物的視点で捉え直す授業を実施した。登場する生物（キツネ、ウナギ、ヒガンバナなど）について、クリップの動画・解説を利用して生態等を理解させた。背景の土地の成り立ちと生い立ちについて、関連するクリップの動画・解説を利用し、既習事項とのつながりを目指した。物語の季節について、クリップを利用して既習事項の季節の変化から考察し、約1ヶ月間の物語であることを理解させた。視点を変えることで新たな見方ができることを学び、各自の発展的な思考活動につなげることができた。

5. 発展的な思考活動の例

a. 替え歌「兵十（へいじゅう）」

新美南吉著「ごんぎつね」の、ラストシーンからつくった替え歌です。昭和40年代の小学校で「ごんぎつね」を学習した頃、The Beatlesの「Hey Jude」が流行っていました。出だしの「Hey Jude…」を小学生のノリで、「へいじゅう、どうして…」とか歌っていました。今回は、その続きをつくって完成させてみました。昭和7年の「ごんぎつね」発表時、兵十の読みは「ひょうじゅう」でしたが、昭和40年代の国語の教科書では、兵十の読みは「へいじゅう」となっていました。昭和22年の当用漢字音訓表で、兵を「ひょう」とは読めなくなったのにしたが、読みが「へいじゅう」になったようです。その後、昭和56年の常用漢字音訓表により、兵を「ひょう」と読めるようになり、兵十の読みは「ひょうじゅう」に戻されたようです。

b. 創作童話「夏の日のごん」

<h2 style="text-align: center;">夏の日のごん</h2> 	<p>このお話は、秋の長雨が2・3日続いて、外に出られないときに、ごんが巣穴の中で思い出していたことです。</p> 
---	--



「あの雲は丸っこくて握り飯みたいだ。あれは怒って追いかけてくる兵十の顔にそっくりだぞ。」



そんなことを考えながらぼーっと雲を眺めていました。いくつかの雲はくっついて、狐のような形になりました。「あの雲はお母さんかな。でもよくわからないや。」

高等学校理科「地学基礎」学習指導案

実施時期：平成31年1月17日（木）3時間目

実施学級：総合ビジネス科第2学年B組（男子5名、女子8名）

授業者：愛知県立半田商業高等学校定時制 教諭 細山光也

1. 単元名「発展学習 ごんぎつねの科学」
2. 単元の目標

半田市出身の童話作家、新美南吉の「ごんぎつね」は、すべての小学校国語の教科書に掲載されており、生徒にとって親しみのある、また、身近な土地に関連した物語である。本単元では、「ごんぎつね」の物語中に登場する生物や地形・季節を取り上げ、理科的な視点で捉え、考察する。

3. 生徒の実態と指導観

定時制課程に在籍する生徒は、国語力をはじめとする学力の幅が大変大きい。また、高校入学前に不登校であったり途中で入国したりして、「ごんぎつね」に触れていない生徒も存在する。指導にあたっては、映像教材を利用して視覚に訴え理解しやすくする。また、説明に身近なエピソードを絡めて興味・関心を喚起する。

4. 本時の指導

(1) 題材名「ごんぎつねの科学」

(2) 指導上の工夫

- ・身近な地域の話である新美南吉の「ごんぎつね」を題材にして、既習事項等を思い出させ、学び直しにつなげていく。
- ・NHK for school クリップのムービーを活用し、実感を伴う学習ができるようにする。

(3) 準備物 パソコン、プロジェクタ、スクリーン、授業プリント

(4) 本時の展開

時間	生徒の学習活動と学習内容	指導上の留意点 プリントの活用	評価方法
導入 5	1. ごんぎつね ・ごんぎつねのストーリー、物語の背景などを思い出す。	・NHK for school おはなしのくに「ごんぎつね」を視聴させ、物語を思い出させる。	生徒観察 発問
展開 I 10	2. ごんぎつねと南吉にかかわる生物 ・物語や南吉にかかわる生物のうち、キツネ、ウナギ、ヒガンバナ、結核菌について学習する。	・NHK for school クリップ「キタキツネ」「ウナギの一生」「ヒガンバナと球根」「社会保障－公衆衛生（結核）」を視聴させ、プリントに記入して理解させる。	プリント 生徒観察 発問
展	3. ごんぎつねの舞台：	・物語の当時に近い明治時代の地形図を	プリント

開 Ⅱ 10	・南吉のふるさとでござつねの舞台である岩滑の地形などについて学習する。	見ながら、NHK for school クリップ「愛知県の自然」を視聴させ、地学基礎で学習したことを復習しながらプリントに記入し、理解させる。	生徒観察 発問
展 開 Ⅲ 10	4. ござつねの季節 ・物語の記述から、ござつねの季節や時期を読み取り、考察する。	・NHK for school クリップ「秋の天気は？」「満月の動き」を視聴させ、地学基礎で学習したことを復習しながらプリントに記入して季節や時期を読み取り、考察させる。	プリント 生徒観察 発問
ま と め 10	5. 本時のまとめと各自の発展的な活動 ・各自の興味に応じた調べや創作の例に触れ、発展的な活動をする。	・本時の学習内容を各自で振り返り、興味に応じて調べたり、創作するなど、理科・地学の範囲を超えた発展的な活動を促す。	生徒観察 発問

(5) 板書計画 (授業プリント)



愛知県立半田商業高等学校校定時制2年での授業実践（1月・研究授業）

